

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
 KUMAMOTO MEDICAL CENTER



救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院

臨床研修プログラムの目的と特徴

- ①当院は救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院であるため、救急疾患から悪性疾患まで豊富な症例を経験することが可能です。
- ②日本有数の救急車搬入実績を持つ救命救急センターにおいて救急医療の基本的な診療を実践できます。年間約10,000台の救急車を受け入れており、プライマリ・ケアが必要な救急患者を数多く研修することができます。
- ③医療技術の習得のための講習会を実施します。縫合、CVカテーテル挿入などの侵襲的な処置の技術習得のため、シミュレーション・モデルを用いたスキル・トレーニング等を行います。
- ④北米型レジデント研修方法を習得するために北米からレジデント教育の指導者を招聘し、ケースカンファレンスなどのトレーニングを行います。EBMセミナーにおいて臨床研究を実際の医療に役立てる方法を習得します。
- ⑤地域密着型の地域医療研修を実践します。当院は開放型病院であり、また地域医療支援病院でもあるため地域の医療機関との連携協力も密で、全国でも有数の開放型病院登録医数を誇っています。従って、地域の中核病院、診療所においてプライマリ・ケアの研修を行います。
- ⑥充実した卒後研修システムを活用します。地域医療研修センターでは、年間2,600回にも及ぶ研修会を開催しており、これらの研修に参加します。また教育的CPCでは、研修医が中心となって徹底した症例分析を行います。

プライマリケア臨床研修プログラムの目的と特徴

総合臨床研修プログラムの特徴に加え、本プログラムでは熊本県内における地域の中核病院において約1年の研修を協力型として行います。

臨床研修プログラム

■初期臨床研修 週間スケジュール 1年次:診療科目/内科(糖尿病・内分泌内科)〈例〉

曜日	月	火	水	木	金
午前	論文勉強会 病棟研修	甲状腺エコー 病棟研修	病棟研修	甲状腺エコー 病棟研修	病棟研修
午後	病棟研修 症例検討会	NST回診 病棟研修	糖尿病教室実習 病棟研修	転倒転落回診・病棟研修 担当症例カンファレンス	病棟回診 病棟研修

■初期臨床研修 年間スケジュール

総合臨床研修プログラム													
1年次	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	外科	→	内科	→	麻酔科	→	内科	→	救急	→	
場所	熊本医療センター												
2年次	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	地域医療	選択	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
場所	当院	多数	熊本医療センター										

プライマリケア臨床研修プログラム

1年次												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	外科	→	内科	→	麻酔科	→	内科	→	救急	→
場所	熊本医療センター											
2年次												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	産婦人科	総合診療科	→	小児科	→	精神科	→	地域医療	→	選択	→
場所	協力病院											

アピールポイント

救急疾患から悪性疾患まで豊富な症例を経験

当院は、救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院であるため、救急疾患から悪性疾患まで豊富な症例を経験することが可能です。日本有数の救急車搬入実績(年間約10,000台)を持つ救命救急センターではプライマリ・ケアが必要な救急患者を数多く研修し救急医療の基本的な診療を実践します。縫合、CVカテーテル挿入など侵襲的な処置の技術習得のため、シミュレーション・モデルを用いたスキル・トレーニング等を行います。

[指導医からのメッセージ] The message from an advising doctor



熊本医療センター
 教育研修部長
富田 正郎
 Masao Tomita

当院には、厚生労働省の講習会を受講した正式な資格を持つ臨床研修指導医が53名在籍しています(H29.11.30時点)。研修医が希望する各科をローテートして研修を行います。どの科を回ってもしっかりとした指導体制が取れるよう配慮しています。また必修科以外は研修医の意向に沿って柔軟に選択できるようになっています。その他、「モーニングセミナー」「内科月曜会」「診断と治療-最新の基礎公開講座」、各科のカンファレンスなども充実。米国から指導医の先生をお招きする「北米型レジデント研修」では、英語でのプレゼンテーションや発表を行う機会が毎年1~2回あり、研修医にとって貴重な機会となっています。「初心忘るべからず」にちなみ、何のために医師になったのかを思い出し、患者さんご自身のために苦境に負けず頑張ってください。

独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター

後期研修について

当院は新しい専門医制度に対応し、下記の4領域の専門研修プログラムを提供します。
●基幹プログラム(当院で専攻医を募集するプログラム)／内科、麻酔科、救急科、総合診療

MESSAGE 先輩研修医からのメッセージ

豊富な診療科での研修、
救急医療での対応力が
身につく病院。
勉強会の機会も豊富です。

研修2年目 矢野 雄久
TAKAHISA YANO



私は熊本出身ですが、久留米大学に進学しました。研修先を選ぶ際は、そのまま久留米に残るか、地元に戻るかを迷い、久留米と熊本で3か所ずつ見学に訪れました。どの病院も雰囲気は良かったのですが、研修期間は2年間と限られるので、多くの診療科を持ち、選択の幅が広い「熊本医療センター」での研修に興味を持ちました。また将来、内科に進みたいと考えており、救急医療の症例を数多く経験できることも決め手になりました。

当院は救命救急医療と高度先進医療を担う病院であるため、症例も多く、様々な科で豊富な経験ができます。2年次には選択の科を10カ月間回ることができ、希望に応じて1週間といった短い期間での研修も可能です。そういった柔軟な研修システムも当院の魅力ではないでしょうか。

救急患者の対応では研修医がファーストタッチを行い、指導医の先生方に相談しながら自分たちで率先して動くので、様々な学びがあります。救急外来やオペでの経験を重ねるごとに、一つ一つの症例に落ち着いて対応する力もついてきました。「習うより、慣れる」の現場で、率先して動くことの大切さを感じています。

当院では勉強会の機会も多く、毎週行われる「モーニングセミナー」では、各科の先生方から臨床の現場で大事な事例を学ぶことができます。また「北米型研修会」では、本物の英語に触れる機会もあり、文献を読む際の英語力も育まれていると感じます。

研修中は、つらいことも、楽しいこともどちらも経験することになります。2年間という限られた研修期間を、いかにやる気やモチベーションを維持し続けるかも大切です。ぜひ充実した研修期間を過ごしてください。

診療科一覧

- 総合診療科
- 血液内科
- 腫瘍内科
- 糖尿病・内分泌内科
- 呼吸器内科
- 腎臓内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 心臓血管外科
- 脳神経外科
- 神経内科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- 皮膚科
- 放射線科
- 放射線治療科
- 救急科
- 病理診断科
- 外科
- 頭頸部外科
- 呼吸器外科
- 小児外科
- 整形外科
- 形成外科
- 精神科
- リウマチ科
- 小児科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- リハビリテーション科
- 麻酔科
- 歯科
- 歯科口腔外科

研修・認定施設一覧

- 【学会等認定施設】
- 日本皮膚科学会専門医研修施設
 - 日本病理学会研修認定施設
 - 日本乳癌学会関連施設
 - 日本肝臓学会認定施設
 - 日本糖尿病学会認定教育施設
 - 日本消化器学会専門医制度認定施設
 - 循環器専門医研修施設
 - 臨床研修病院指定
 - 日本がん治療認定医機構認定研修施設
 - 日本整形外科学会専門医制度研修施設
 - 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
 - 栄養管理・NST実施施設
 - 日本形成外科学会認定施設
 - 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度による認定施設
 - 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
 - 肝臓病医療支援システム指定高次専門施設
 - 日本透析医学会専門医制度に基づく認定施設
 - 日本高血圧学会専門医認定施設
 - 日本内科学会認定医制度における教育病院認定
 - 精神神経学会精神科専門医制度における研修施設
 - 日本動脈硬化学会専門医制度における教育病院
 - 日本人間ドック学会人間ドック専門医制度過渡的措置に基づく研修関連施設

- 内分泌代謝認定教育施設
- ステントグラフト実施施設
- 胸部ステントグラフト実施施設
- 放射線科専門医訓練機関
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 麻酔科認定病院
- 血液研修施設
- 泌尿器科専門医教育施設

1日平均外来患者数 / 639.5人(平成28年度実績)
1日平均入院患者数 / 505.0人(平成28年度実績)
年間手術件数 / 4,854件(平成28年度実績)

所在地	〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号
開設者	独立行政法人国立病院機構
開設年月日	平成16年4月1日
院長名	高橋 毅(たかはし たけし)
病床数	550床
標榜科	総合診療科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、神経内科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、救急科、病理診断科、外科、頭頸部外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、泌尿器科、産婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科
医師数	常勤医師99名 非常勤医師10名 レジデント24名
指導医数	53名
研修医数	前期35名(1年次17名、2年次18名)、後期1名
専門医	アレルギー1人、胃腸科1人、肝臓4人、がん薬物療法1人、気管食道科2人、救急科9人、形成外科2人、外科8人、血液8人、血管インターベンション治療1人、高血圧薬治療2人、口腔外科1人、呼吸器2人、細胞診2人、産婦人科5人、耳鼻咽喉科2人、集中治療2人、循環器5人、消化器7人、消化器外科2人、消化器内視鏡5人、小児科4人、神経内科3人、腎臓2人、心臓血管外科1人、頭痛1人、整形外科6人、精神科1人、創傷外科1人、透析3人、糖尿病4人、動脈硬化2人、内科12人、熱傷2人、脳神経外科1人、脳卒中2人、泌尿器科4人、皮膚科3人、病理1人、婦人科腫瘍2人、ペインクリニック1人、放射線診断5人、放射線治療1人、麻酔科4人、リウマチ3人、臨床検査1人
認定医	整形外科1人、内科26人、外科6人、肝臓1人、救急1人、血液1人、消化器病1人、腎臓1人、消化器外科4人、脳神経外科1人、リハビリテーション1人、がん治療9人、PET核医学1人、検診マンモグラフィ読影1人、心血管インターベンション2人、胸部外科1人、乳癌1人、抗菌薬化学療法1人、歯科麻酔1人

*医学会等、名称省略

募集要項	<p>応募資格 平成31年3月医師免許取得見込みの方 又は平成16年度以降医師免許取得者で卒業臨床研修を未実施の方</p> <p>応募締切 平成30年8月2日(木)必着</p> <p>試験日程 第1回 平成30年8月9日(木) 第2回 平成30年8月16日(木)</p> <p>試験内容 作文、面接</p> <p>給料 1年次 月額/340,000円 2年次 月額/360,000円</p> <p>諸手当 通勤手当、特殊勤務手当 (放射線取扱手当、夜間看護等手当、ヘリコプター搭乗救急医療手当、特殊業務手当、超過勤務手当、休日給、夜勤手当、時間外手術等従事手当)</p> <p>年次有給休暇 有</p> <p>宿舎 有</p> <p>加入する保険等 全国保険協会保険、厚生年金に加入。労働災害保証適用有</p> <p>医師賠償責任保険 当直の回数 約3回/月</p>
------	---

応募連絡先	<p>所在地 〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号</p> <p>担当部署 国立病院機構熊本医療センター/管理課給与係長</p> <p>T E L 096-353-6501(代)</p> <p>F A X 096-325-2519</p> <p>E - m a i l 613jy01@hosp.go.jp</p> <p>U R L http://www.nho-kumamoto.jp</p>
-------	--

ACCESS



阿蘇くまもとと空港から
県道36号線から、県道28号線を熊本市役所方面へ。花畑町交差点を右折後、桜町交差点右折。しばらく行った右手。

熊本インターチェンジから
九州自動車道「熊本I.C.」より、国道57号線(東バイパス)を宇土方面へ。保田窪北交差点を右折、3kmほど進んで県道28号線を熊本市役所方面へ。花畑町交差点を右折後、桜町交差点右折。しばらく行った右手。

JR熊本駅から
熊本市電で健軍方面へ。熊本城前電停下車。徒歩約10分。